

## 2018年度後期スキルアップ講座のご案内

今年度の後期スキルアップ講座は明海大学の中井延美先生に講義していただきます。是非多くのボランティアの皆様への参加をお願いしたいと思います。日程と申込方法は下記をご覧ください。

第1回 10月21日(日) 10:30-12:30 国際センター(マーレ2階)

テーマ 日本語ボランティアとしての話し方

概要 外国人参加者が教室で接する日本人ボランティアは、その人の話し方の個性も含めて「生きた教材」になります。ただ、そうはいっても、日本語ボランティアとして外国人パートナーと接するからには、伝わるように話そうと意識することが大切です。この講座では、伝わりやすく話すためのポイントをいっしょに確認しながら、実際に、「わかりにくい話し方」を「わかりやすい話し方」に変換する練習をしていきます。

第2回 10月28日(日) 10:30-12:30 国際センター(マーレ2階)

テーマ 「察する」ためのことばの仕組み

概要 日本(語)の文化は、「察しの文化」「高コンテキスト文化」などと呼ばれることがあります。言葉ではっきり言われなくても「察すること」を重視し、コンテキスト(context, 場面・状況)への依存度が高い文化だと考えられています。異なる価値観をもった外国人には、この「察する」という行為の解釈が難しい場合があります。この講座では、「察する」ためのことばの仕組みをいっしょに考えていきます。

第3回 11月11日(日) 10:30-12:30 国際センター(マーレ2階)

テーマ 授受表現の仕組みを見直そう

概要 「あげる・もらう・くれる」を使った表現は、「授受表現」「やりもらい表現」と呼ばれます。「あげる・もらう・くれる」は「物のやりもらい」を、「～てあげる・～てもらう・～てくれる」は「行為のやりもらい」を表します。物の移動や動作の方向性、話し手の視点などが関わるだけでなく、待遇表現(さしあげる・いただく・くださる)として使われたり、使役表現(～(さ)せて)と併せて用いられたりもするため、外国人学習者にとって一筋縄ではいかない学習項目のひとつです。この講座では、私たちが日々無意識に使いこなしている授受表現の仕組みを客観的に見直していこうと思います。

受講料 全3回で500円(1回でも500円)

申込方法 10月6日(土)までにクラスリーダーに、別途申込書に受講料を添えて申し込み下さい。クラスリーダーは10月定例会10月20日(土)に申込書と受講料を研修担当にお渡し下さい。